

# 就職氷河期世代の支援



NPO法人 ICDS 井戸 千尋

## なごや若者サポートステーション

令和3年度 32人

令和4年度（12月末締め） 23人

**ICDS**  
愛知県

## ちた地域若者サポートステーション

令和3年度 48人

令和4年度（12月末締め） 21人

## なごや若者サポートステーション

### 全体の比率と男女差

令和3年度 32名は全体の16%

男性19名 : 女性13名

1.4 : 1

令和4年度（12月末）23名は全体の23%

男性9名 : 女性14名

1 : 1.5

## ちた地域若者サポートステーション

### 全体の比率と男女差

令和3年度 48名は全体の50.6%

男性12名 : 女性36名

1 : 3

令和4年度（12月末）22名は全体の31.3%

男性6名 : 女性15名

1 : 2.5



地域の特徴

# 氷河期世代の主な特徴

## 男性

- 1. あと一歩なかなか踏み出せない**
  - 過去の人間関係トラブル
  - プライド
  - この年齢で年下にどう思われるか
- 2. 企業理解や社会情勢理解不足**
  - 年功序列や働き方の考え方
  - ネームバリューがある会社
  - こだわりの強さ（実家暮らし）
- 3. 他責にしている場合が多い**
  - あの上司の言い方が悪い
  - 説明しないのが悪い
  - 自分のミスと向き合わない
- 4. 親御さんの意見**
  - すぐに正社員就職への強要

## 女性

- 1. 何が出来るかわからない**
  - 子育ての時間の長さ
  - 他人軸
  - 出来ることに気づいていない
- 2. ITやPCスキルの不足**
  - 機会を失っていた
  - 母子家庭など金銭的理由
  - できないと避けてきた
- 3. 行動力はある**
  - 課題発見すれば行動する
  - 方法が分かれば取り組む
  - 就労決定までが早い
- 4. 女性の人間関係の悩み**
  - 入った先での人間関係の心配
  - 家庭などの背景

## あいち就職氷河期世代活躍支援プラットフォームについて

### 設置目的

- ・ 個々人の状況に応じた支援を主体的に取り組む
- ・ 就職・正社員化、職場定着の促進及び多様な社会参加の実現

### 策定の背景／目的

いわゆる就職氷河期世代は、バブル崩壊後の雇用環境が厳しい時期に就職活動を行った世代であり、希望する就職ができず、現在も、不本意ながら不安定な仕事に就いている、無業やひきこもりの状態にあるなど、様々な課題に直面している方は全国で約100万人に上ると見込まれている

1. 2020年度から2022年度までの**3年間**で 正規雇用者を**17,700人増やす**
2. 長期間無業状態：サポステにて**就職活動へ踏み出す**ための支援を行う
3. 社会参加支援：**一人一人の状況に合わせた**就労に限らない多様な支援体制

## 氷河期世代

概ね平成5  
(1993)年～平  
成16(2004)年  
に学校卒業期を  
迎えた世代

## 取組の方向性

- ・ 本県の厚い産業集積を活かした多様な雇用機会の創出
- ・ 魅力ある職場づくりやメンターの養成等による職場定着の促進
- ・ 市町村プラットフォームの形成による支援体制の充実・ネットワークづくりの促進

### 本県の厚い産業集積を活かした多様な雇用機会の創出について

職業訓練校の情報提供：自身の課題に取り組める他、職業選択肢の幅を広げる、自信がつく  
ハローワーク利用に抵抗がある人に対しては一緒に登録して検索まで行ってみる  
県就業促進課のメンタル相談の事業受託を行い利用者に不安を整理して次のステップへ進めるよう支援  
県学習支援事業を受託して中卒者、高校中退者にあたる氷河期世代の高卒認定試験合格の支援

### 魅力ある職場づくりやメンターの養成等による職場定着の促進

職場体験新規企業様へのサポステ利用者の傾向や体験の目的の周知理解の促進  
新規受け入れ企業が見つかったとしても、周知が浅いと感じるところには時間かけて周知の活動を行っている  
障がい者雇用サポーター講座に職員を研修に出し、特性のあるひとへの理解促進

### 市町村プラットフォームの形成による支援体制の充実・ネットワークづくりの促進

地元の支援機関など他機関連携や社会参加となるボランティア活動域の拡大の為に地域のネットワーク会議に参加し理解を深めている  
大府市障がい者雇用連絡協議会委員となり参加の企業や高校の校長などにも連携が出来るよう参加

# 愛知県就業促進課の事業

・県の事業で配置している心理士の相談を経て、就職に至った事例

## 電気工事士としての資格を持ちつつ、正社員になっても辞めるように促され何度も離職に至った30代後半男性

### メンタル面談を受けてわかったこと

- ・ かるい軽度知的の可能性（車の運転は可能）
- ・ 認知のゆがみによって、正しく物事が受け入れられず支障が起こり退職勧奨を受けてきた
- ・ 正社員として定着支援の継続中、歪んだ捉え方を面談のたび修正できるように定期的に行っている

## 3日以上仕事が続いたことがなく、やめる時も何も言わずに逃げてくることを繰り返してきて親の年齢から本当に仕事をしなくてははいけないと来所の40代前半男性

### メンタル面談を受けてわかったこと

- ・ こだわりの強さや周りの空気の読めない部分がHSPだと思い込んでいるがグレーゾーンである
- ・ 自分の強みの理解、こだわりの整理、相手から求められる能力と合わない職業を選ばない支援
- ・ 現在は雇用保険のある仕事に継続就労している。海苔の梱包作業

・就職には至らなくともその後の就職活動につながった事例

## 高校卒業後就職して13年働いてきたが新しい上司のパワハラによりうつ症状がでて離職した30代後半男性

### メンタル面談を受けてわかったこと

- ・職人になりたくて手作業を求めていたが入った会社は製造業で主に機械で不満を持っていた中で、上司が代わり作業の遅さや態度など何度も毎日毎日大声で指摘をうけ、朝起き上がれなくなった
- ・製造は好きだが、また上司が年上の男性であることに少し不安（本人表現：トラウマ）がある
- ・女性オーナーの職場体験へ参加をして、腰の療養中は短期アルバイトをして、現在は東海市の委託を受けている環境整備会社へ通っている。上司は男性であるが、体験から雇用へ繋がった

## 40代女性、姉と母親の陰に隠れるように生活を送ってきたが親の高齢化や世帯収入の減少によって、「働かなくては困る」と家族に言われて自分で動けず姉に連れられてきた方の事例

### メンタル相談を受けてわかったこと

- ・家族、親類以外と関わりのない人生を今まで送ってきており、対人に強い不安症状があること
- ・頭の整理が中々できず、多くのことを瞬時に処理できないためパニックになり焦ってしまう
- ・信頼関係をじっくりと形成し、新しい人や物事をはじめるときの不安軽減のため実体験経験を増やす
- ・現在、ボランティア参加していた事業所から依頼があり、短時間の雇用契約となり継続中である

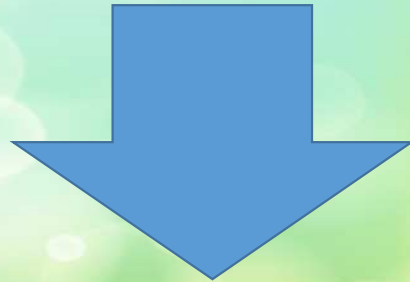


・相談を受ける中での今後の課題

## 就労経験はあるが続かない、母親に連れてこられた30代後半の女性の事例

### メンタル面談を受けわかったこと

- ・ 幼い時期に母親からの暴力があり、異常なまでの母親絶対主義であったこと
- ・ 仕事はアルバイトが多く、唯一正社員で入った製造は作業が遅く辞めさせられた状況
- ・ 母親の代わりに2代のころから10年祖父、祖母の食事をつくったり簡単な介護をしていた
- ・ 医療機関にリファーし診断、現在リファー先就労支援を探し社会福祉協議会につなげる



# 就労ではなく大人の神経発達症の受容

- ・面談のみのかたも多くいるが、サークルなどに参加して一般就労がご自身で難しいと感じた際に自己理解を深めながらゆっくり受容されていく
- ・保護者の方への理解促進のために、臨床心理士と担当キャリアコンサルタントで親御さんに丁寧な説明を行う
- ・これからの不安に対しての情報提供を行う  
医療にて検査後、診断が出てから医療受給者証の取得によって利用可能な施設の案内や情報提供を行う



**医療機関へのリファー先、他機関との連携が必須**

## 課題

### ・就職率だけの数字評価

サポステのプラス事業として今まで卒業が出来ない時間のかかる利用者の方へ、早い段階での選択肢が選んでもらえるようになった。継続できない働き方をしてきた時間のかかる利用者の放置状況がなくなっていた利点はある。しかし時間のかかる利用者への対応での医療機関にリファーマでのかかる時間、新しい施設への見学など人員的に不足している状況が続いている。そして保護者説明など大変なことも多く、全く数値として反映、評価されていないところが課題。

### ・サークル参加の頻度や意欲

氷河期世代のかたのサークル利用が少ない点である。PC講座などは積極的に参加それ目的に登録プライドが高めな氷河期世代にも参加の意欲が出るようなサークル内容や外部講師など検討中である。

### ・1年半以内を目標として実際のかかる時間

目標設定は必要であるが、個々にあった状況を考えて設定は様々である。実際はそれ以上にかかる氷河期世代が増えてきている。氷河期世代も実際52歳までが該当と思うが、49歳までの区切りは今後超えてしまった人をどこに繋いでいくのか。

### ・氷河期世代が抱える背景

子供のころに見過ごされてしまった発達障害傾向の方（手帳や自立支援医療受給者証が取得できない）家族の力関係、依存、DV、ITスキル向上、周りに受け入れてもらえない気持ちが強い。

### ・出張相談先でのメンタル面談対象者への対応

遠方の方で拠点まで来れない人、心理士と担当者の日程と合わせる難しさは今後どうするか工夫が課題。

**ご清聴ありがとうございました**

**NPO法人 ICDS**

**なごや若者サポートステーション  
ちた地域若者サポートステーション**